

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※皆さんでご覧ください。

第38号

令和8年3月1日
＜発行責任者＞
(住職) 藤野慶正

春の彼岸

3月17日(彼岸入り)
3月20日(中日・春分の日)
3月23日(彼岸明け)

まもなく春の彼岸となります。ご先祖あつての私達、お墓参りをされる中で、阿弥陀仏そしてご先祖様に思いを巡らしお墓参りを。また中々会えないご家族がいらっしやったら、これをご縁に会うキツカケとして頂くのもご先祖様のお導き。皆様の参詣をお待ちしております。混雑の予想される20日(金・祝)・21日(土)に交通整理をお願いする予定です。お氣をつけてお越し下さい。

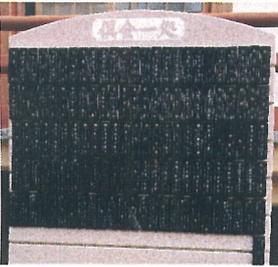


西日が綺麗です。極楽浄土は西の方角にあるとされています。

永代供養合同法要

3月20日(金)午後2時

春の彼岸の中日(春分の日)に、永代供養「正安の縁」会員向けの合同法要を行います。特に予約は必要ありませんので、参加される方は、開始10分程前に本堂にお越しください。※費用不要
法要後は各自、納骨壇、永代供養墓、合祀墓へお参りされて下さい。
永代供養ですの寺にて供養させて頂いておりますが、お時間がありませんでしたら是非ご参加ください。個別に年忌法要等ご希望の方は、お電話にてご相談ください。



永代供養も10年が過ぎ会員も増えてきました。倶会一処とあるように極楽浄土で共に仏様となられて見守ってください。合掌

住職の仏々ぶつづ

皆さんお経と言えれば何を思い浮かべますか? 法要時に一緒に読んで頂いている「正信偈」と言つて下さると、住職は喜びますが、実は正信偈はお経ではありません。お経とは、お釈迦様の教えを弟子たちが記録・編纂した仏教の経典であり、正信偈は宗祖親鸞聖人が書かれた書物(教行信証)の一部だからです。ただ、お釈迦様の教えには変わりなく、浄土真宗の真髓を偈(仏の功德を褒め称える詩)にしたものであるのです。お経と言つてしまつても差し支えないと思つては思っています。

経とは正式には「仏説摩訶般若波羅蜜多心経」と言つて、偉大なる真実の智慧と様々な修行により「空」という真理(悟り)に至るための自力の教えです。

他によく知られるお経として「般若心経」があげられるでしょう。か。「色即是空・空即是色」聞き覚えがありますか? また写経等でもよく扱われていますので、ご存じの方も多いと思います。しかし、浄土真宗では扱わないお経だったりします。それは色即是空とあるように「空」(一切のものには実態がない)という仏教の教えの実践を説くお経だからです。般若心

これに対して浄土真宗の教えは、親鸞聖人が長きに渡る比叡山の修行生活の中で、自力では悟ることの出来ない私であると気づかされ、阿弥陀如来の本願にまかせ、ただ念仏ひとつで救われていく道しかないと思われた「他力の教え」です。ですので、念仏一つで救われていく教えには自力の教えである般若心経は必要ないという事なんです。だからといって、唱えてはいけないという訳ではありません。お釈迦様のお教えであり、日常生活をする上で参考になることも多々あるかと思えます。例えば「空」という考え方は、簡単に言つと、存在にラベルを付けず、ありのままを見るところです。ある人を美しい・醜い、賢い・馬鹿などと自分で付けたラベルを剥がして、ありのままの姿を見るとその人の本当の姿を見ることが出来るといった具合に。

お経は現代にも通用する魅力的な教えが詰まっております。少しでも興味を持って接して頂けたら幸いです。

人物紹介



昨夏、世話人に就任された、平瀬勲さん(52歳)を紹介します。勲(いさお)さんは、

ご近所で子供の頃は私の弟と良く遊んでいた素直な少年という印象があります。そんな彼が逞しく成長し消防団で活躍するなど地域に貢献される姿を見て誇らしく思っていました。今回、快く世話を受けて頂きましたので、皆様お見知り置きの程よろしくお願いいたします。

【趣味】犬と遊ぶこと

【日頃から心がけていること】

朝、希望を持って目覚め、昼は勤勉に働き、夜は感謝と共に寝る

【座右の銘】

どうせやるなら先にやる

【正山寺について】子供の頃はよく内外を走り回って遊ばせて頂きました。今は散歩中お寺をバックに犬の写真を撮らせて頂いています。昔も今もお世話になります。ありがとうございます。

坊主のコラム

ぼもり※住職の妻

最近、感動したお話を。1月下旬に息子の学校の吹奏楽部の定期演奏会がありました。中高生で総勢85名。息子の入学式では、この吹奏楽部の生演奏で入退場でした。吹奏楽部に憧れて入学する子たちもいるようです。クラッシックからデイズニーの楽曲、ポップスまで全14曲。なかなか生演奏をホールで聴く機会もないので、聴き入っていました。時折ソロのパートを演奏する人が前に出てきたり、2つの楽器を使い分けたり。楽しいだけではなく、日々練習してきた集大成。迫力がありました。高校二年生は、この演奏会で引退。紹介の場面では、感極まって涙しながら演奏する姿も。私も親御さんではないけれど、そ

の様子に涙が止まりません。音楽に疎い私ですが、素敵な音楽と共に、心が洗われたような一時でした。さて、同じ会場で、今度は息子たちの合唱コンクール。小学生の頃よりだいが声も低くなり、テノール(音の低いパート)に。あまり得意ではないようですが、気持ちを込めて頑張つて欲しいです。また、冬季オリンピックでは、怪我をしつつも出場する選手、団体戦でお互いを信じて鼓舞し演技するフィギアスケート等。若い十代二十代の勇敢な姿を画面越しに応援していました。好きなだけでは到底なし得ない道のりを経て、勝負の場で全力を尽くしている姿もまた尊敬と感動の場面でした。

ペットのお墓「安住」

あんじゆう



今やペットは家族の一員。亡くなられてお骨を自宅に置かれている方もいらっしゃるようです。ペットの安住の地として検討されてみてはいかがでしょうか? ご相談お待ちしております。

あとがき

節分を過ぎますと、温かい日も増えて来て、春を感じるようになりますね。しかし油断は禁物。特に今冬の日本海側の大雪は目をつぶりたくなる程で、被害に合われた方にはお見舞い申し上げます。自然の脅威を知るとともに、上手く共存していく道を歩んで行きたいものです。

それにしても2月8日の衆院選は急すぎた間を否めませんが、高市総理の並々ならぬ決意を感じます。停滞している日本経済を少しでも前進させる勢いに期待したいですね。皆様どうぞお元気で。

寺報「ほっ寺通信」 第38号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職：藤野慶正(発行責任者)
住所：〒194-0201 町田市上小山田町1504
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<https://shousan.net>
メール：info@shousan.net